

2023年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	渡 勇輝
研究テーマ	柳田国男の神道論と「大正期」の神道研究
研究概要	柳田国男の神道論は、近年の注目度に対して歴史的文脈に即した研究が進んでいない。本研究では、これまで柳田民俗学の形成史のなかで理解されてきた柳田国男のテキストを、近代神道史のなかに位置づけなおすことで、その神道研究上の意義と射程を明らかにするとともに、「大正期」における多様な神道研究の勃興をとらえる。

1. 研究活動の概要と研究成果	2023年度は、柳田国男の学問形成を同時代の神道研究の文脈を踏まえて分析した。その結果、柳田は雑誌『民俗』や神道談話会などで議論されていた不変の国民性論への批判として学問形成を行ったことが明らかになった。この成果は『京都民俗』第42号に論文として発表した。
2. 学術論文・学会発表等	〔論文等〕 単「柳田国男の「民俗」忌避と国民性論——『民俗』と『郷土研究』を起点に」『京都民俗』第42号、pp.1~18、京都民俗学会（2023年11月、査読有） 〔発表〕 単「柳田国男ブームの諸相」日本思想史学会2023年度大会（2023年11月12日、東北大学） 単「「巫女考」と巫女の近代——『日本心霊』を手がかりに」日本宗教民俗学会5月例会（2023年5月13日、大谷大学）
3. 競争的資金等への応募と採択	2023年度科学研究費（研究活動スタート支援）「近代日本における南島神道論をめぐる学知ネットワークの研究」（採択期間2023年8月～2025年3月）
4. 今後の課題	研究の過程で、同時代における南島論の重要性が見えてきたほか、戦後における柳田の再評価文脈も重層的におさえなければならないことがわかった。すでに2023年度中にいくつか該当する発表を行っており、引き続き分析を進めていきたい。